

佐野日大高の渡辺君

生物研究大会で金賞

小4から松かさ調べ栄誉

【佐野】佐野日大高進学コース三年の渡辺大貴君(ニセ)小山市大塚Ⅱが、二十四日に茨城県つくば市で開かれた「つくば生物研究コンテスト」で金賞を受賞した。松かさ(松ぼっくり)のりん片の動きを応用した木材の動きを研究。小学生の時から個人で地道に続けてきた研究の成果は、審査員に高く評価された。(藤井達哉)



金賞を受賞した渡辺君

同コンテストは二〇一〇年度に初めて筑波大で開かれる「第二十二回国際生物学オリピック」の開催に先立ち、予選に向けた機運を盛り上げようと中高生対象に開かれた。研究発表には、関東地区の二十三の中学、

の水分に対する収縮率の違いから起こることを確認。さらに別の樹木の木材片も切り出し方によって収縮量が異なることを利用し、木片スライスを組み合わせることで、吸水で反り、乾燥で戻る松かさの動きを再現した。

松かさ研究は、渡辺君が小学四年生から休日を利用して、個人で地道に取り組んできた。遺伝子や細胞といった特別に高度な分野ではないが、身近な生物学から工学的な動きへと着実に研究を重ね、発表させたことが称賛された。

「力量のある人たちが、研究成果が認めら

れ、本当にうれしいことだ。笑顔を見せる渡辺君。昨年、日本学生科学賞を獲得したが、全国ではより上位を狙いたい」と意気込んでいる。